

メールシステム

1. 概要

メールシステムは Gmail (Google Workspace for Education) を既定のメールサービス¹として提供している。

クラウドサービスの障害対策として本学宛に届いたメールはリレーサーバを通じて全て双方 (Gmail, Exchange Online) のサービスに配信される。

スパム対策を含むメールセキュリティについても、それぞれのクラウド機能を用いているほか、メール内のリンクなどもファイアウォールのサンドボックス機能にて解析検知を行っている。

2. 利用状況

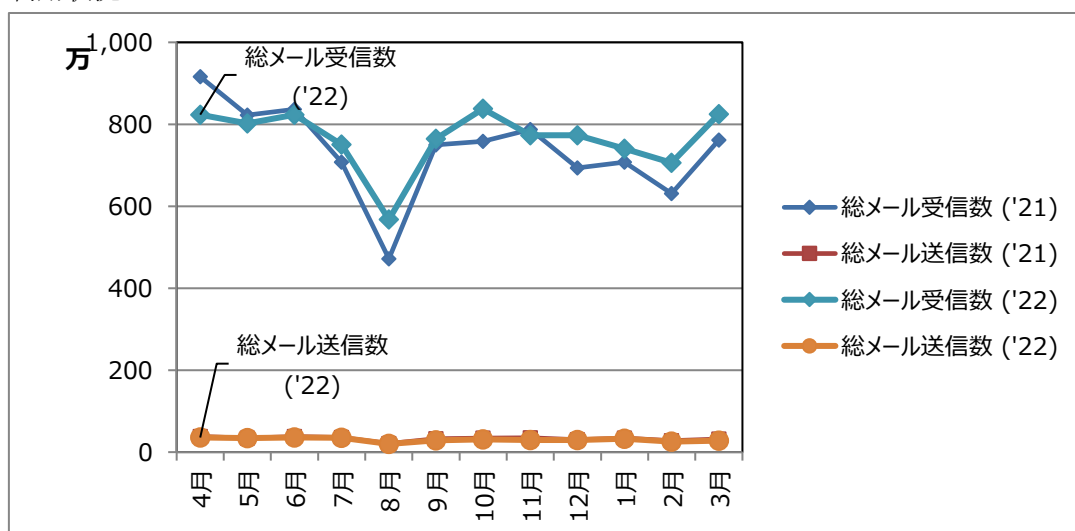


図1：2022年度年間メール送受信総数

¹ Microsoft 365 Apps For Education のメールサービスは準備中。提供時期は未定。

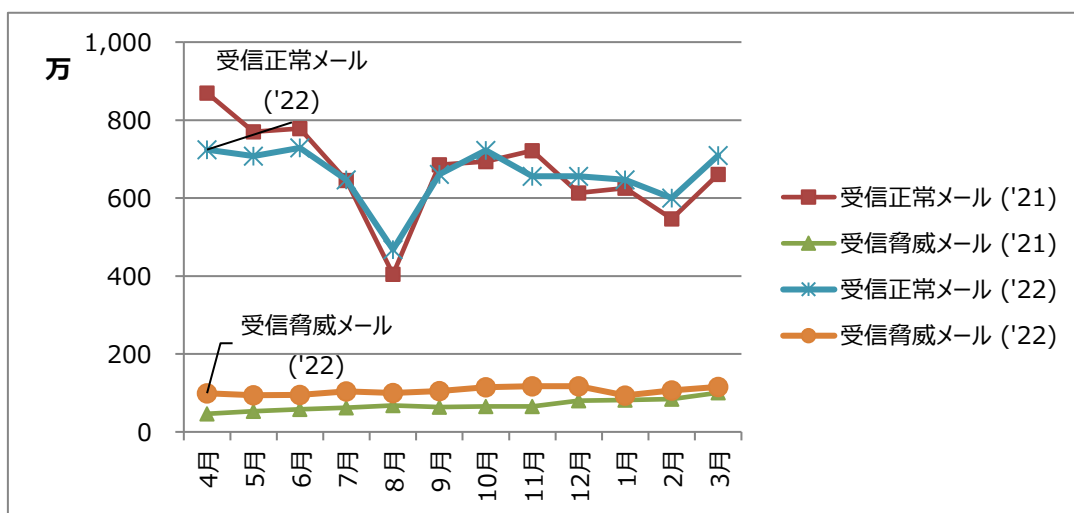


図 2 : 2022 年度年間受信内訳

3. 2022 年度のまとめ

Gmail の SPAM 対策機能により一部 False Negative としてユーザに届いてしまう不正なメールは存在するが、別途フィッシング対策などで対応している。

2021 年度に引き続き Emotet の影響とみられる SPAM メール等の脅威メールの検知件数も前年度と比べ増加傾向となっている。そのため利用者個人で転送設定を行っている宛先などから大学のメールサーバが SPAM 送信先として指定される状況が発生した。解除の申請を行うも SPAM 対象のメール送信量が閾値を下回らないためホワイトリストに変更できない状況も発生した。このことを受け、2 台構成のメールサーバを 4 台にし、SPAM 送信元としてリストされたサーバを一時的に非アクティブにすることで対策を行った。